

「聖歌隊軽井沢合宿を終えて」

川津 泰人

今年も例年のごとく、八月の第四日曜日にかけての四泊五日の聖歌隊の合宿が軽井沢で行われました。昨年新築された聖ルカハウス、木立の中にスエーデン調の建物は軽井沢の雰囲気にぴったりで、我々が滞在した時は例年に無く暑い日が続き、日中は二十八度前後で、昨年の夜、気温が十二度にまで下がり、暖房を用意したことが懐かしく思い出されました。さて合宿は、七時の早禱に始まり、午前午後共、普段は長時間できない練習を全員で、又はパートに分れて、大竹隊長の熱心な指導のもと日曜日のコンサートに向けて練習を重ねました。五時から晩禱そして、夕食後は場所をコンサートの行われるショウ記念礼拝堂に移しての練習、及び土曜夜にはゲネプロ形式で行いました。この礼拝堂は軽井沢を開いたショウ司祭を記念して建てられた木造の小ぢんまりした教会で、現在は中部教区の村岡司祭ご夫妻が管理をされています。今年にはグランドピアノが寄贈されたとの事で、渋い中にも華やかな面を覗かせておりました。

そして終禱で一日が終わるのですが、就寝前のひと時、これからの聖歌隊について、同じ聖公会の仲間の話等の話題に留まらず様々なことについての熱い議論が、ビアグラス片手にたたかわされました。普段は隊員同士じっくりと話す機会がない為、このひと時がとても貴重な意見交換の場となっています。本番当日の早禱には日野原理事長も散歩の途中によつて頂き、励ましのお言葉をいただき聖歌隊員一同大感激しました。主日礼拝後のコンサート開始の十一時すぎには約五十名が集りほぼ満員となりました。会衆者の中には毎年来ていただいている懐かしい方の他にも今年も新しい参加者も居られました。コンサートでは、バードの *Haec Dies* はじめアンコール曲も含め全部で九曲を奉唱、内聖歌二曲を会衆と共に歌いました。全体の出来は、大きなミスもなく隊長からの講評では高い評価を頂き隊員ほつとしました。今回も井原司祭が参加してくださり、早晩禱の司式及び恒例の講話には、隊員から出された質問に丁寧な答えをいただきました。特に現在の社会の混沌とした中で、クリスチャンとしての生き方、心構えを聖書の言葉から紐解き丁寧に教えていただきました。



さて、この合宿での実りを、九月からの主を賛美する礼拝に於いて活かし、ますます練習に励むよう努めたいと思います。